

テーマ：2009年10-12月期GDP（2次速報値）の予測
～ 1次速報とほぼ変わらず ～

発表日：2010年3月4日（木）

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 新家 義貴
TEL:03-5221-4528

3月11日公表予定の2009年10-12月期実質GDP（2次速報）は前期比年率+4.5%（前期比+1.1%）を予想する。1次速報段階の前期比年率+4.6%（前期比+1.1%）からは下方修正だが、修正幅は僅かであり、景気認識の変更をもたらすものにはならないだろう。

設備投資は前期比+0.7%（1次速報段階：同+1.0%）を予想する。1次速報から小幅下方修正ではあるが、前期比プラスは確保できる見込みであり、設備投資の下げ止まりが改めて確認されると思われる。売上や収益の底打ちが徐々に投資に繋がりは始めている。

本日公表された法人企業統計では設備投資は前期比▲0.9%と減少したが、これにQE推計に際して行われるサンプル替えの影響を軽減するための断層調整や、リース取引に関する会計基準適用の影響を除去するための処理などを行えば、前期比▲0.1%とほぼ横ばいになる。更に、12月分の供給側指標が若干強めだったことも考慮すると、1次速報からの設備投資の下方修正幅は小さいものととどまる見込みである。

また、GDP 2次速報では法人企業統計の原材料在庫と仕掛品在庫の結果も反映されるが、在庫投資の対GDPの前期比寄与度は+0.1%ポイントと、1次速報（同+0.1%ポイント）から変化はない見込みである。ただし、在庫投資は事前予測が困難であるため、不確実性が大きいことには注意しておく必要がある。その他、公的固定資本形成は若干の上方修正（前期比▲1.3% ← ▲1.6%）を予想する。

09年10-12月期GDP2次速報の予測

	2次速報予測値	1次速報実績
実質GDP	1.1	1.1
(前期比年率)	4.5	4.6
内需寄与度	0.6	0.6
(うち民需)	0.5	0.5
(うち公需)	0.1	0.1
外需寄与度	0.5	0.5
民間最終消費支出	0.7	0.7
民間住宅	▲ 3.4	▲ 3.4
民間企業設備	0.7	1.0
民間在庫品増加(寄与度)	0.1	0.1
政府最終消費支出	0.8	0.8
公的固定資本形成	▲ 1.3	▲ 1.6
財貨・サービスの輸出	5.0	5.0
財貨・サービスの輸入	1.3	1.3
名目GDP	0.2	0.2
(前期比年率)	0.8	0.9
GDPデフレーター(前年比)	▲ 3.0	▲ 3.0
国内需要デフレーター(前年比)	▲ 2.9	▲ 2.9

※断りの無い場合、前期比(%)